

# 第 3 学 年 総 合 学 習 指 導 案

3 年 1 組 指 導 者 小 林 弘 典

## 単 元 みんなでつくろう！山口市

### 1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

多面的・多角的に考える

### 2 本単元について

本学級の子どもたちは、生活科で、客と店員の視点をもっておまつりを開いて楽しんだ経験をもつ。そのような子どもたちが、地域の祭りを運営している方に出会い、イベントへの出展に向けて企画したり、まちづくりに関わる行政や企業の方に話を聞いたりして、まちづくりに関わる人々の思いや願いに気付いていく。このことは、地域の発展を願ってまちづくりに参画しようとする態度の素地を養うことにつながるであろう。

本単元は、地域の祭りやイベント、まちづくりについて調べ、どのように参加できるか考えていく学習である。子どもたちは、それぞれの活動において自ら課題を設定し、探究的に学習を進めていくであろう。その際、子どもたちが対象を多様な視点で見ることが大切になりたい。そうすることで、様々な人々が地域の発展に向けて思いや願いをもち、協働してまちづくりを推進していることに気付くことができるからである。そして、多様な視点をを用いた課題解決を経ることで、本単元の探究課題に限らず、その他の広範な事象も多様な視点で捉え、実社会・実生活の課題を探究する姿を期待したい。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 単元をとおして、立場の異なる複数の人から話を聞く活動を仕組む。そうすることで、まちづくりに関わる視点を増やしていくことができるようにする。【創】
- 振り返りの際、どの視点で見ていたかを中心に振り返るよう促す。そうすることで、課題解決できたのは、多様な視点をを用いたことの成果であることを自覚することができるようにする。【受】
- 他者からの評価を受けて自分たちの取組を見直す活動を、繰り返し仕組む。そうすることで、多様な視点をを用いて課題解決をすることができるようにする。【転】

### 3 本単元の目標（文化・世界＋生活＋社会参画）

- まちづくりに関わる人々との関わりをとおして、様々な人々が地域の発展に向けて思いや願いをもち、協働してまちづくりを推進していることに気付くことができるようにする。
- 地域の一員としての自覚をもち、地域の発展を願ってまちづくりへ参画しようとする態度の素地を養うことができるようにする。

### 4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○様々な人々が地域の発展に向けて思いや願いをもち、協働することでまちづくりが推進されていることに気付いている。	○必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながらイベントへの出展を企画している。	○まちづくりに関わる人々の思いや願い、仲間の考えを生かしながら、協働して課題の解決に取り組んでいる。

### 5 指導計画（全 24 時間）

第 1 次 祭りについて知る（4 時間）

第 2 次 地域のイベントに出展する（15 時間）【本時 8 / 15】

第 3 次 行政と企業のまちづくりについて知る（4 時間）

第 4 次 単元を振り返る（1 時間）

6 本時案 【令和3年10月18日 14:25~15:10 3年1組教室】

- (1) ねらい 他学年による評価の結果を基に自分たちのポスターを見直すことで、複数の視点をもってよりよいポスターを作ろうとすることができるようにする。
- (2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 1年生と6年生による評価の結果を基に、自分たちのポスターを見直す。(35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他学年による評価</li> <li>1年生の視点</li> <li>6年生の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生と6年生から結果が返ってきたよ。</li> <li>わたしたちは6年生からのシールがたくさんもらっているよ。</li> </ul> <p>Aわたしたちのポスターは、1年生からのシールが少しだよ。どうしてかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>結果からどんなことがわかるかな</p> </div> <p>B 1年生に人気のポスターは、<u>写真が多いよ。生き物の様子が分かりやすいからね。</u></p> <p>Aわたしたちは写真をあまり使っていなかったね。だからシールが少ないのだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年生は、写真だけでなく文章や表があるポスターに多くシールを貼っているよ。</li> <li>6年生は、川や魚について詳しいことが知りたいのだと思うよ。早速、直したいな。</li> </ul>	<p>○1年生と6年生の評価結果に対する気付きを交流する場を設ける。そうすることで、1年生や6年生の視点でポスターを見直すことができるようにする。 【創】</p> <p>○結果を受けてどのように修正をしたかを問う。そうすることで、読み手の視点をもってポスターの修正案を考えることができるようにする。 【受】</p>
<p>2 本時の学習を振り返る。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の視点</li> </ul>	<p>どのようにポスターを直したいのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年上の人に向けて、<u>文章で川や魚のことをもっと詳しく書きたいな。</u></li> </ul> <p>B 1年生は、生き物の姿や魚捕りの様子が知りたいだろうから、もっと写真を増やしたり、大きな写真を使ったりしようよ。</p> <p>A今まで考えていなかったけれど、1年生の視点でポスターを見直したよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行ってみたいと思ってもらえるようなポスターを作るために、1年生や6年生に見てもらってよかったね。</li> </ul> <p>A <u>相手によって求めるものが違うから、いろいろな立場になって考えることが大切だとわかったよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修正して千葉さんのチェックを受けよう。</li> </ul>	<p>○ポスターをどの視点で見直していたのか振り返るよう促す。そうすることで、視点を意識して学習していたことを自覚することができるようにする。 【受】</p>

(3) 板書計画

行ってみたい? 10月18日(月) ポスターを見なおそう 知りたいこと?

学年	1	2	3	4	5	6
1年生		(15)	3	(17)		
6年生	3	5	5	6	(9)	7
特徴	写真が少ない まだ空きがある	写真が多い	写真が少ない 表書きがある 字が大きい	写真が多い 字が大きい きれい	写真が少ない 文しつが多い (魚のくわい説明)	表 (おれ下生き物)

魚・生き物

魚のくわい説明

魚のくわい説明

数  
しぼり

1年生  
生き物・魚  
魚とりの方法

6年生  
生き物・くわい  
(魚とり) 数  
しぼり

写真を使うといふ  
大きな字  
読みがな  
わかりやすく

写真と説明のくわい  
小さな字と  
表やグラフ

1年生のし点

6年生のし点

他にもある?

### 第3学年総合学習指導計画

3年1組 指導者 小林弘典

72M(24時間) **が本時**

学習活動	子どもの意識
<b>第1次 祭りについて知る</b> <span style="float: right;">12M(4時間)</span>	
<b>学習内容</b> ・地域の祭りを運営している方の存在や、その方々の思いや願いに気付くこと(知)	
<input type="checkbox"/> 学習の見通しをもつ (3M)  <input type="checkbox"/> 祭りについて知りたいことを整理する (3M)  <input type="checkbox"/> 川島さんの回答から祭りについて知る (6M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「湯田温泉白狐まつり」の写真だね。この写真に写っている山口商工会議所青年部の川島さんという方が、お祭りについて話しに来てくれるのだった。去年は、コロナ禍のためお祭りはなかったね。今年は、お祭りは行われるのかな。お祭りについていろいろ聞いてみたい。</li> <li>・川島さんから聞いてみたいことを送ってほしいと言われたよ。お祭りについての質問をまとめよう。お祭りはいつからあるのですか。どうしてお祭りを行うのですか。お祭りを開催する際に、大切にしていることは何ですか。準備期間はどのくらいですか。今年はお祭りが行われますか。いろいろな質問が出たね。</li> <li>・川島さんからの回答が届いたよ。お祭りは、昔から続いているのだね。神様に感謝するなど、お祭りには目的があるのか。参加する人のことも考えてお祭りをしてくれているのだね。お祭りをするには多くの人の協力が必要なのか。11月に新しいお祭りがあるのだった。行ってみたい。そのお祭りは3年前から準備しているのだった。どんな準備をしていたのかな。さらに聞いてみたいことが出てきたよ。</li> </ul>
<b>第2次 地域のイベントに出展する</b> <span style="float: right;">45M(15時間)</span>	
<b>学習内容</b> ・イベントへの出展は、探究的に学んだことによる成果であると気付くこと(知) ・多様な視点を基に、情報を取捨選択、比較、関係付けしながらイベントへの出展を企画すること(思) ・イベントを発足した方のねがいや仲間の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組むこと(態)	
<input type="checkbox"/> 川島さんと千葉さんから祭りの説明を聞き、ポスター出展の提案を受ける (9M)  <input type="checkbox"/> ポスターづくりの計画を話し合う (3M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は、川島さんが来てくれて直接お話をしてもらえるよ。11月の新しいお祭りは「FAMILY FESTIVAALI ～GO OUT! YAMAGUCHI」というイベントなのか。コンセプトは、家族が笑顔になる住みやすいまちづくりなのだった。そのために、山口の魅力や、山口の自然をいかした活動を発信していきたいのだね。グランピング紹介や体験コーナーなどたくさんのお店があるらしいよ。川島さんたちは子どもの立場からの情報発信も欲しいと思っていて、わたしたちにもお手伝いをお願いしたいのだった。場所を設けるから、わたしたちが学習している山口市の川についてポスター発表をしてみないかだ。新しいイベントに関われるなんてすごいな。わたしたちが新しいイベントに企画側として参加することができるのか。こんな挑戦初めてだけど、3年1組でチャレンジしようよ。ただし、ポスター出展の前に主催者の千葉さんたちからポスターのチェックがあるそうだよ。わたしたちの頑張りとお祭りにとっても期待していると言われたよ。わたしたちもイベント成功のためにがんばろう。</li> <li>・どんなポスターをつくらうかな。総合で学習している川や魚のことを伝えたいな。五十鈴川や一の坂川、採集した生き物を紹介しようよ。国語でポスターについて学習したことを生かして、目的や相手を決めようよ。読んだ人が川に行ってみたいと思えるようなポスターにしよう。伝えたい相手は、イベントに参加する家族だね。</li> </ul>

<input type="checkbox"/> イベントで展示するポスターを作る (6M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループに分かれてポスターを作るよ。私たちのグループは、魚捕りの様子やどんな魚がいるのかを書こうよ。協力してポスター作りを進めよう。言葉と写真の関わりも大切だったね。魚捕りのことは、楽しさが伝わるような文章を書こうよ。捕まえた生き物の写真を載せると、相手にどのような生き物か分かりやすいね。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 作ったポスターをどのように評価するか考える (3M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのポスターも、総合で学習した川や生き物のことを書くことができたね。このイベントは家族を笑顔にすることが目的だったけれど、イベントに来る人たちは、ポスターを見てどう思うかな。川に行こうと思ってもらえるかな。そうだ。1年生と6年生に見てもらって、行ってみたいと思ったポスターにシールで投票してもらおう。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 他学年の評価を基にポスターを見直す (3M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスターの結果が返ってきたよ。わたしたちのポスターには、1年生からのシールが少したよ。1年生は、生き物の姿や活動の様子が知りたいのではないかな。小さな子どもでも行ってみたいくなるようなポスターを作りたいな。もっと写真を増やして、文字を大きく書くことにするよ。今日は、1年生の視点でポスターを見直したよ。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> ポスターを修正する (6M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスターを見てくれた人が実際に川に行ってみようと思えるように、1年生や6年生の立場になって作ろうよ。写真の数を増やしたり、文字を大きくしたりして、小さな子どもにも伝わるように変えていこう。魚捕りの様子が分かる写真も入れて、楽しそうな雰囲気も伝えよう。休み時間に1年生に見てもらったら、魚捕りの様子や生き物のことが分かりやすくなったと言ってもらえたよ。よいポスターができたね。いよいよ千葉さんたちにチェックをしてもらおう。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 千葉さんの評価を基に、ポスターを見直す (3M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉さんたちがポスターを見に来てくれたよ。何と言われるかな。山口市の自然を使った遊びを紹介できていて、山口市の川や生き物のすばらしさが伝わると言ってもらえたよ。しかし、実際に川に家族で行くとなると、市外からのお客さんには、川の手がかりが分かりにくいとも言われたよ。実際に連れて行ってくれる大人のことや、これらの川を全く知らない人の立場になって考える必要があるね。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> ポスターを修正する (6M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>川の手がかりが分かりやすいように、山口市の大きな地図を用意して、目印になるものを書き込もう。子どもにもわかる目印を選ぼうよ。山口駅からの距離や所要時間があると計画も立てやすいと思うよ。これなら、市外からのお客さんにも伝わるね。川の浅さも伝えると、子どもも大人も安心できると思うよ。たくさん人の視点で考えることで、行ってみたいと思ってもらえるポスターになっていったと思うよ。もう一度、千葉さんに見てもらおう。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> もう一度、千葉さんにポスターを見てもらおう (3M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉さんに、誰が見ても山口の自然の魅力が伝わるよいポスターだと褒めてもらえたよ。3年1組のポスターをぜひ展示させてほしいと言われたよ。やったね。うれしいな。それでは、ポスターを千葉さんに預けて展示してもらおうよ。「FAMILY FESTIVAALI ~GO OUT! YAMAGUCHI」は、11月7日の日曜日だったね。家族と見に行くよ。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 「FAMILY FESTIVAALI ~GO OUT! YAMAGUCHI」の様子を基に活動を振り返る (3M)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日曜日に「FAMILY FESTIVAALI ~GO OUT! YAMAGUCHI」に行ったよ。ポスターを見ていた人が、今度行ってみようと言っていてとても嬉しかったよ。先生が、お祭りの様子を撮影してくれていたのだから。見てみよう。家族連れが多いね。みんな楽しそうだよ。「笑顔」と「山口市の自然のPR」が達成できたね。わたしたちのポスターは大成功だったね。今度、川島さんも感想を伝えに来てくれるそうだ</li> </ul>

	<p>よ。始めはわたしたちにできるか不安だったけれど、いろいろな視点に立って、何度も考え直して、みんなで協力して成功することができたね。お祭りをつくることの大変さやおもしろさも分かったよ。</p>
<p><b>第3次 行政と企業のまちづくりについて知る</b> <span style="float: right;"><b>12M (4時間)</b></span></p>	
<p><b>学習内容</b> ・行政、企業、市民が協働してまちづくりを推進していることに気付くこと (知)</p>	
<p><input type="checkbox"/> 山口市の祭りやイベントについて探る (3M)</p> <p><input type="checkbox"/> まちづくりについて都市計画課の春野さんの話を聞く (3M)</p> <p><input type="checkbox"/> VIVITAの金子さんの話を聞く (3M)</p> <p><input type="checkbox"/> 来年度の「VIVITA DEMO DAY in YAMAGUCHI」に向けてアイデアを考える (3M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川島さんが来てくれたよ。今回のようにみんなでイベントを盛り上げていくことは山口市のよりよい未来につながることだと言われたよ。わたしたちにも、山口市のためになることができたなんてすごいね。もっと山口市のお祭りやイベントに企画側としてみんなで参加したいな。山口市のためにできることはありませんか。地域を盛り上げるイベントや、まちづくりに関係するイベントについては、市役所に聞くと教えてもらえるのだって。よし。市役所に聞いてみよう。</li> <li>・市役所の春野さんがまちづくりについてお話に来てくれたよ。どの世代にとってもくらしやすいまちをつくるためには、市と企業と市民、みんなでまちづくりを行うことが必要なのだって。わたしたちは市民としてまちづくりに参加することが大切なのだね。この前のポスター出展もまちづくりに関わることだと褒めてもらえたよ。わたしたちにも、まちづくりでできることはありませんか。VIVITAさんという企業と山口市で、小学生と中学生のアイデアをもとにまちづくりを行っているのだって。VIVITAさんについてもっと詳しく知りたいな。</li> <li>・VIVITAの金子さんがお話に来てくれたよ。「VIVITA DEMO DAY in YAMAGUCHI」という取組を今年から始めたのだって。わたしたちの「こんな商店街あったらいいな」のアイデアも届いていたらしいよ。金子さんは、まちづくりに関わるアイデアを実現する経験をしてほしいのだって。実際に、集まったアイデアの中から実現したものもあるのか。わたしたちもアイデアを形にする活動に参加したかったな。金子さんたちも未来の山口市のことを考えて活動されていることが分かったよ。</li> <li>・来年度の「VIVITA DEMO DAY in YAMAGUCHI」に向けて、わたしたちもアイデアを出そう。どんな商店街になるとよいか。春野さんも、商店街が賑わうことで、山口市が活性化されると言われていたから人が集まる商店街になるようなアイデアがよいね。どんな視点で考えるとよいのかな。わたしは子どもの視点と大人の視点で考えたよ。みんなのアイデアを金子さんに送ろう。来年度が楽しみだな。自分たちのアイデアを形にする活動にも参加するよ。</li> </ul>
<p><b>第4次 単元を振り返る</b> <span style="float: right;"><b>3M (1時間)</b></span></p>	
<p><b>学習内容</b> ・自分も地域の一員であることを自覚し、地域の発展を願ってまちづくりに参画しようとする事 (態)</p>	
<p><input type="checkbox"/> 単元を振り返る (3M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住んでいる山口市では、いろいろな人たちがそれぞれの立場で未来の山口市のためにいろいろなことを考え、企画していることが分かったよ。みんなでまちづくりをすることが大切なのだね。わたしたちも市民としてまちづくりに参加できたね。来年も山口市を盛り上げるために、これらのイベントに参加しよう。他にもわたしたちにできることがないか調べて、もっとまちづくりに参加していこう。</li> </ul>